

2022年 新春ご挨拶

一般社団法人 日本加工食品卸協会
会長 國分 晃



新年明けましておめでとうございます。

2022年の年頭にあたりご挨拶申し上げます。皆さまにおかれましては、つつがなく新春をお迎えのこと、心よりお喜び申し上げます。

昨年2021年は、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症が我が国においても遂に第5波までを数えることとなり、足元においての感染者数は減少傾向となっているものの、世界的には今だにその終息の目途が立っていない現状です。今般のコロナ禍は私たちの生活様式を根本から変えるものとなり、数年掛けて進むはずの社会構造変化がこの2年間で大きく進む結果となりました。交通、観光、外食産業はその需要構造が大きく変化し、従前の状況に戻ることは困難と云われております。その様な状況の中で、食のサプライチェーンの中間を担う私ども食品卸業界は販売チャネルの構造的変化はあったものの、生活者の方々に安定的に商品をお届けするという使命は達成することが出来ました。これもサプライチェーンを担う製配販3層が連携して、それぞれの役割を果たした成果であり、それを支えていただいた皆さまに改めて敬意を表するものであります。

さて、本年2022年は大きく変化した生活様式、社会構造を踏まえ、そこに新たな価値を創造し、将来の新たな発展に向けて更なる進化を遂げる年であります。当協会といたしましても、従前からの重点テーマである「持続可能な物流の構築」及び「サプライチェーン全体を繋ぐデータ基盤の構築」に加え、SDGsの根幹ともなる様々な環境問題についても主体的に関与してまいります。食品流通全体をサステナブルなものにするためには、これらは避けて通れないサプライチェーン全体の課題であり、これらのテーマに積極的に取り組み、課題解決に向け役割を果たしていく所存です。皆さまのご協力をお願い申し上げます。

最後に本年も関係各位に一層のご指導・ご鞭撻をお願いしますとともに、本年が皆様方にとってよりよい年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。